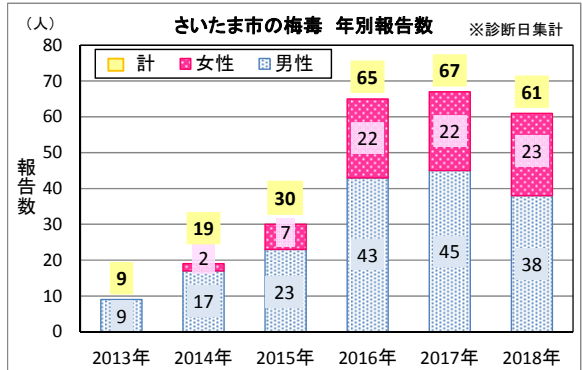


★風しんの報告が続いています!

■全数把握対象疾患(結核を除く)

四類感染症のレジオネラ症1人(病型:肺炎型)の報告がありました。

五類感染症のウイルス性肝炎1人(病型:B型)、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)1人(病原体:不明)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人(血清型:G群)、侵襲性肺炎球菌感染症1人、梅毒3人(病型:早期顕症梅毒Ⅰ期1人、早期顕症梅毒Ⅱ期1人、無症状病原体保有者1人)、百日咳4人(7歳1人、10歳代2人、30歳代1人)、風しん3人(検査診断例2人、臨床診断例1人)の報告がありました。さいたま市の梅毒の今年の累計は61人となり、2006年以降の同時期と比較して最も多い状況です。風しんは12週続けて報告があり、今年の累計は34人となりました。詳細は「さいたま市風しん週報」をご覧ください。

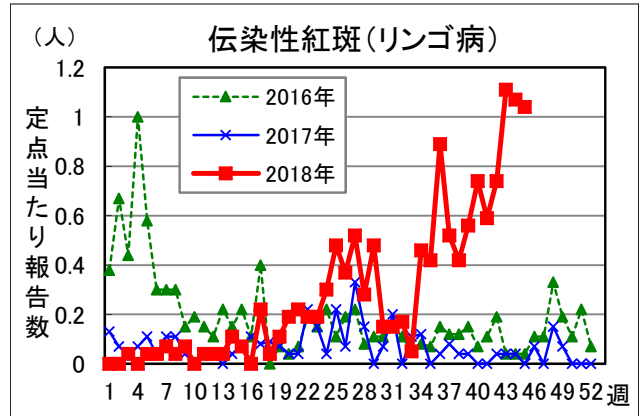
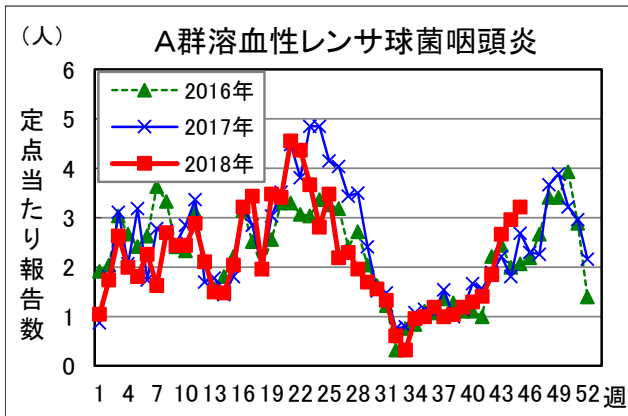


■定点把握対象疾患

インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎の報告が増加しました。

伝染性紅斑、流行性角結膜炎の報告が多い状況です。

無菌性髄膜炎の報告が1人(20-24歳)ありました。



■定点当たり報告数表(第45週 11月13日 13:00集計)

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	0.29	↑	★
RSウイルス感染症	0.52	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	0.07	↓	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.22	↑	★★★
感染性胃腸炎	6.67	↑	★
水痘(みずぼうそう)	0.78	→	★
手足口病	1.89	→	★
伝染性紅斑(リンゴ病)	1.04	↓	★★★
突発性発しん	0.74	→	★

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
ヘルパンギーナ	0.11	↓	★
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.07	→	★
急性出血性結膜炎	0.00	→	★
流行性角結膜炎(はやり目)	1.13	→	★★
細菌性髄膜炎	0.00		報告数が少ないため表示せず
無菌性髄膜炎	1.00		
マイコプラズマ肺炎	0.00		
クラミジア肺炎	0.00		
インフルエンザによる入院患者	0.00		
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00		

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。(小さい ←★、★★、★★★→ 大きい)

☆さいたま市病原微生物検出情報(月報)2018年10月号をホームページに掲載しています。

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2018年第45週 平成30年11月5日～11月11日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
インフルエンザ #1	12	0.29	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	1	1	2	2	-	-
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-						
RSウイルス感染症	14	0.52	5	1	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	2	0.07	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87	3.22	-	2	2	3	6	6	12	14	17	6	6	11	-	2						
感染性胃腸炎	180	6.67	2	16	22	22	17	14	17	16	9	5	9	19	6	6						
水痘	21	0.78	2	-	1	1	1	1	3	3	4	3	-	2	-	-						
手足口病	51	1.89	-	2	10	5	14	5	4	4	2	1	1	1	1	1						
伝染性紅斑	28	1.04	-	-	1	4	3	4	7	4	2	1	1	1	-	-						
突発性発しん	20	0.74	-	5	13	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	3	0.11	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	2	0.07	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	1.13	-	1	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	1.00	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザによる入院患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

(- : 0)

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況… : 警報レベル、 : 注意報レベル

11月 13日 13:00 集計

全数把握対象疾患届出数(2018年)

類型	疾患名	2018年 第45週 受理分	2018年 累計 ※1	2017年 累計 ※1,2	疾患名	2018年 第45週 受理分	2018年 累計 ※1	2017年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	1
	細菌性赤痢	0	1	1	パラチフス	0	1	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	28	40				
四類	E型肝炎	0	3	0	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	14	3	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノкокクス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	1	0	レジオネラ症	1	11	12
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	
デング熱	0	0	2	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	12	16	侵襲性肺炎球菌感染症	1	36	29
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	4	6	水痘(入院例に限る)	0	0	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	14	7	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) ※5	1	4		梅毒	3	61	67
	急性脳炎	0	22	20	播種性クリプトコックス症	0	0	2
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	9	8	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	7	8	百日咳 ※4	4	79	
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	3	34	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	6	10	麻しん	0	0	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
新型インフルエンザ等感染症	規定されている疾患は、現在のところありません。							
指定感染症	該当する疾患は、現在のところありません。							

2018年11月13日 15:00集計

※1 累計は診断日で集計しています。 ※2 2017年累計は速報値となっています。
 ※3 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。
 ※4 感染症法施行規則の一部改正により、2018年1月1日から全数把握対象疾患となりました。
 ※5 感染症法施行規則の一部改正により、2018年5月1日から全数把握対象疾患となりました。